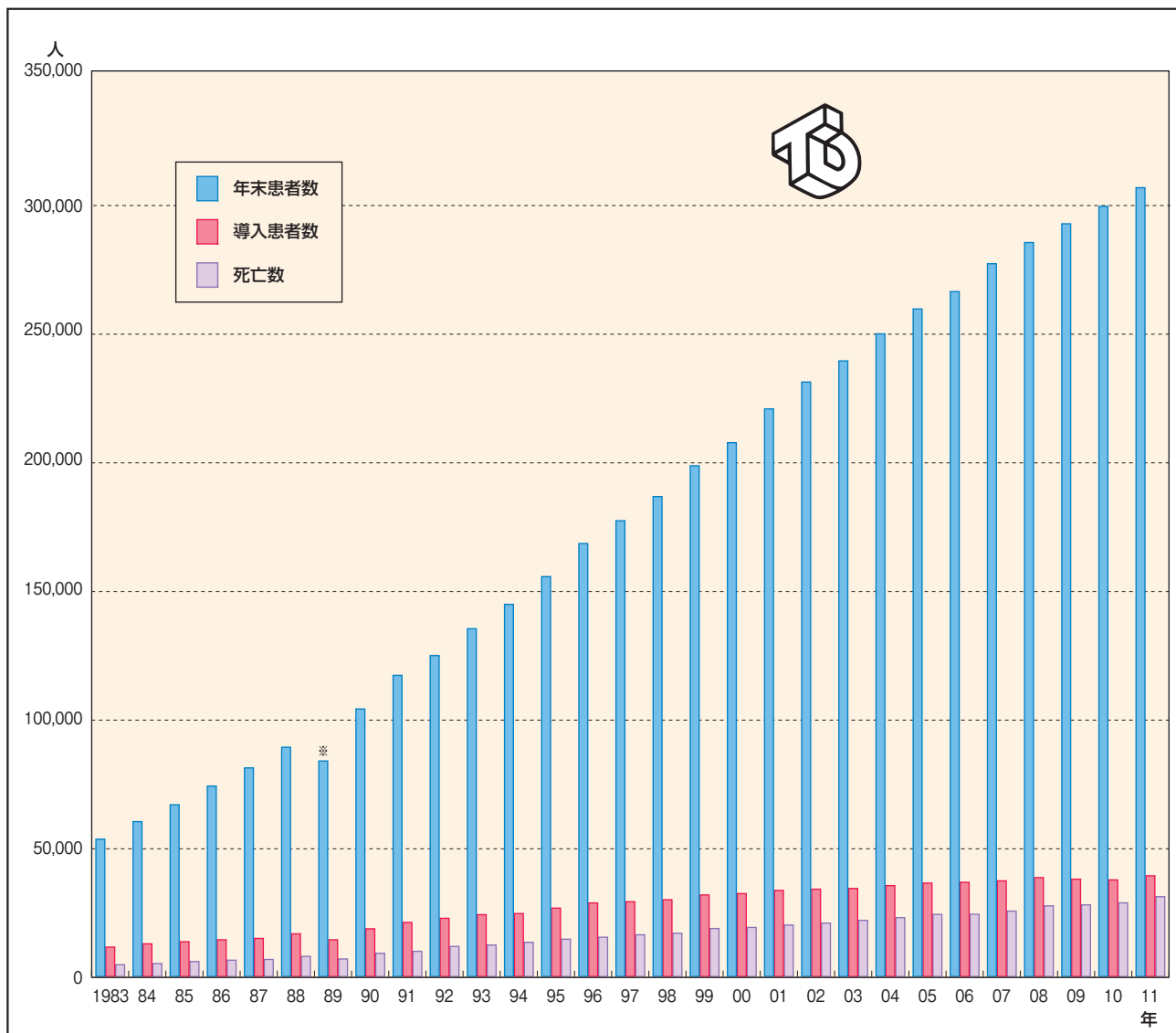


2) 患者数等

(2) 年別透析患者数、導入患者数、死亡患者数の推移 (図表3)



年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
年末患者数	53,017	59,811	66,310	73,537	80,553	88,534	83,221	103,296	116,303	123,926	134,298	143,709	154,413	167,192
導入患者数	11,348	12,606	13,416	14,175	14,699	16,470	14,174	18,411	20,877	22,475	23,874	24,296	26,398	28,409
死亡数	4,538	5,000	5,770	6,296	6,581	7,765	6,766	8,939	9,722	11,621	12,143	13,187	14,406	15,174

年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
年末患者数	175,988	185,322	197,213	206,134	219,183	229,538	237,710	248,166	257,765	264,473	275,242	283,421	290,661	298,252	304,592
導入患者数	28,870	29,641	31,483	32,018	33,243	33,710	33,966	35,084	36,063	36,373	36,934	38,180	37,566	37,512	38,893
死亡数	16,102	16,687	18,524	18,938	19,850	20,614	21,672	22,715	23,983	24,034	25,253	27,266	27,646	28,882	30,831

施設調査による集計

解説

2011年の導入患者は38,893人で前年度より1,381人増加した。2009年、2010年と2年間続けて減少していたが、反転した。ちなみに2002年度以降の経年的な変化は、467人、256人、1,118人、979人、310人、561人、1,246人、 Δ 614人、 Δ 54人であった。調査票回収率の改善が影響している可能性は否定できない。一方、死亡者数は30,831人で前年度より1,949人増加した。死亡患者数の増加は一定の傾向であり、経年的に漸増している。

※1989年の患者数の減少は、アンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響である。